

# 市之倉里山砂防事業

# 市之倉里山作業道 ~開通のお知らせ~

多治見市市之倉地区「やすらぎの森」に市之倉里山作業道が開通します（令和3年3月）。

この作業道は、土岐川流域グリーンベルト事業における、里山砂防事業として樹林の手入れをするための舗装道路です（幅員4m）。この道路の開通により、市之倉小学校を取り囲む「やすらぎの森」内に作業車が入ることが可能となり、これまで地域の方が行っていた枯れ木の伐採や台風後の倒木の処理作業のための移動や作業道具の運搬などが、より安全かつ容易に実施できるようになります。

市之倉運動広場

市之倉小学校

市之倉ハイランド

展望台

展望台

市之倉里山作業道

市之倉里山作業道

展望台からみた市之倉小学校

展望台（未来のある自然観察の広場）

0 100 200m



# 土岐川流域グリーンベルト事業と樹林整備活動の取り組み

## ■ 土岐川流域グリーンベルト事業

### 荒廃していた山地と緑の回復

かつて、薪炭材の伐採や陶土の採掘などにより、樹林が乱伐され、「はげ山」が広がっていました。

昭和初期より、砂防事業において、植生を導入する山腹工事が行われました。

山腹工事が進められてきたことにより、現在は概ね緑が回復した状況にあります。



### 宅地開発による樹林地の減少と都市災害危険箇所の増大

緑は回復したものの、山麓での宅地開発が進み、樹林地の分布は細分化される傾向にあります。山麓での開発が進んだ結果、土砂災害危険箇所も増大しました。

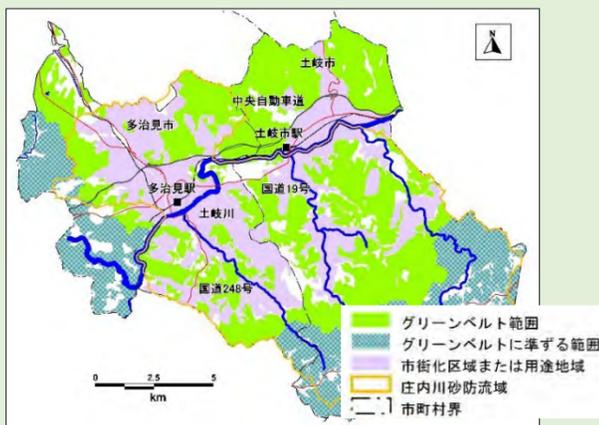
### 樹林の荒廃化

残された貴重な緑は、管理不足や、土壌が貧弱であるため樹林の生育が悪いなどの理由から、樹林の荒廃化が進みつつあります



### 土岐川グリーンベルト整備事業とは

こうしたことから、土岐川流域グリーンベルト整備事業は、多治見市・土岐市を対象に市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯(グリーンベルト)として保全・創出することで、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。



### 基本理念

互いの連携・協力のもと、はげ山から再生した丘陵をより安全で豊かな都市山麓につくりあげていく

### 基本方針

- 1 山麓斜面を防災的に強い樹林地とし、土砂災害を防止する
- 2 土砂災害の恐れのある地域に対し、適正な土地利用に誘導する
- 3 防災機能が強く、種の多様性に富む樹林地を保全・創出する
- 4 生活に憩いをもたらす自然景観を保全する
- 5 身近な自然体験（環境学習や森林レクリエーション）の場を提供する

## ■ 市之倉地区における樹林整備活動の取り組み



多治見市市之倉地区でも、かつてははげ山が広がり、土砂が流出していました。はげ山から再生した里山をより安全で豊かな都市山麓につくりあげていくことを目的に、平成 15 年より、「市之倉森づくり合同部会」が発足し、樹林地の整備活動を始めました。



「やすらぎの森」は緑を取り戻していますが、実際には土壌が薄く、台風などによる倒木やアカマツの立ち枯れ木などが多く見られます。作業にはチェーンソーなどの機械の持ち運びも必要です。



「やすらぎの森」では、やすらぎの森部会、筒小屋の森部会の方が中心となって活動を実施しています。倒木等の玉切り作業は、市之倉里山作業道上で実施することもできるようになりました。

作成：多治見市  
国土交通省 多治見砂防国道事務所  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/sabo/satoyama/>  
2021.3